

2017年5月18日

TATA グループの TCS 社との協業により新規事業を創出

## インドにイノベーションセンターを設立

共同事業開発拠点「センター オブ エクセレンス(CoE)」を開設

パナソニック インド株式会社は、インド TATA グループの IT/ソフト開発会社 Tata Consultancy Services Ltd.(TCS 社)との協業により、本年4月1日、「インドイノベーションセンター」を設立しました。本日5月18日、同センターの共同事業開発拠点である「センター オブ エクセレンス(CoE)」をインド(バンガロール)に開設、開所式を挙行了しました。同センターは、インド市場で新たな需要が期待される分野での新事業創出を目指し、両社で市場調査や研究開発、スタートアップ企業の発掘などを推進していきます。

高い経済成長を続けるインドの社会は、急激な変化を続けており、エネルギーや環境、安全など、新しい社会課題がうまれています。同センターは、こうした社会課題に対し、パナソニックグループがこれまで培ってきたセンサやロボティクス、エネマネなどの技術の強みと、TCS 社が持つソフトウェア開発力、IT、IoT、AI などの技術の強みを掛け合わせ、新たなソリューションを生み出していきます。

同センターには、イノベティブ事業創造部門、技術開発部門、オープンイノベーション推進部門の3部門を設置。イノベティブ事業創造部門では、コネクティッドホーム/コミュニティ、モビリティ、エネルギー、ファイナンスなど、様々な事業領域のラボを順次設立し、市場動向調査、アイデア創出から事業化までを推進します。技術開発部門では、両社の強みとなる技術を活かした共同研究開発を推進。オープンイノベーション推進部門では、インドに多数存在するIoT分野などのスタートアップ企業を発掘し、事業化支援等を行っていきます。また、同センターでは、創出した新規事業を、中東・アフリカ地域へ展開、さらにはグローバルのパナソニックの新規事業創出に貢献していくことも視野に、活動していきます。

パナソニック株式会社は、2013年に成長市場であるインドを「戦略国」に認定して現地主導の経営、自己完結型の経営を推進し、現地のニーズを捉えたスピーディな事業展開を行い、事業成長を続けてきました。今後も、社外パートナーとの連携も含め、これまでにない発想で新たな事業創出を行っていきます。

## ＜インドイノベーションセンターの概要＞

名称	インドイノベーションセンター（英文名称:India Innovation Centre）
代表者	マニッシュ シャルマ （パナソニック株式会社 役員、パナソニック インド株式会社 社長）
所在地	インド グルガオン（パナソニック インド株式会社内） センター オブ エクセレンス:インド バンガロール(TCS 社内)
設立日	2017年4月1日